

事務事業名	鬼怒水辺観察センター管理運営事業		担当	市民生活部 環境課（根本山） 鬼怒水辺観察センター	
政策名	5	「環境づくり」～安全なまちアップ！～	施策名	4	自然環境の保護と地球温暖化対策の推進
成果指標	名称		単位	5 年度実績	
	利用者数		人	1,490	
	区域内に生息する野鳥の種数		種	33	
	区域内に生息するチョウ、トンボの種数		種	約80	
事業概要	鬼怒水辺観察センターを起点とする、オオバンの池（市有地約7ha）、トンボの池（国造成、約3ha）の自然環境を保全し、市民の自然環境学習を推進している。観察センターは、水曜日、土曜日、日曜日、祝日に開館し、施設管理や自然観察等利用者の対応を行っている。				
5 年度 実績・成果・課題	【実績】利用者数は、前年1,376人から114人増加し、1,490人であった。 自然体験教室（根本山自然観察センター主催）を2回実施する予定であったが、雨天中止により1回の開催となった。 トンボの池及びオオバンの池の芝刈り、草刈り等を計画的に実施した。 【成果】水辺の自然環境が保全され、利用者は環境への理解を深めることができた。 【課題】多様化するニーズに応え、魅力的な自然体験教室やイベント等を実施し、利用者を増やす必要がある。				
今後の方向性と 具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 ・施設のPRを効果的に行うとともに、利用者の多様化するニーズを把握するため、施設利用のアンケートを実施し、魅力的な自然体験教室やイベント等となるよう開催方法の見直しを検討します。				